

本日の問い

『東南アジアでは、気候を生かしてどのような生活を営んでいるのか？』

※No.17のプリントと同様

7 _____の影響と人々の生活

例②



教科書p.78-79を読みながら、次の文章に適語を記入しよう

- 東南アジアで①_____が特に盛んなのは、ジャワ島やインドシナ半島の平野部など、季節風の影響を強く受ける地域である。
- 1960 年代、短期間で収穫できる②_____が開発され、政府による灌漑整備や肥料の補助を受けて広く普及した。これらの農業の技術革新は③_____とよばれている。
- 現在では機械化が進んで商業的な稲作も広くみられ、灌漑により年に 2 回、稲を栽培する**二期作**が行われる場所も多い。
- 東南アジアでは、熱帯の気候を生かして、さとうきび、天然ゴム、油やし、バナナ、コーヒーなどの④_____が⑤_____でつくられ、世界各地に輸出されている。
- 東南アジアの国々は、工業化を図ることで農産物や鉱産資源の輸出に依存した⑥_____から脱却し、人々の生活水準を高めようと努力してきた。
- マレーシアやインドネシアでは、洗剤などの原料となる油やしの栽培地が拡大し続けてきた。また、インドネシアなどの海岸部では、マングローブを切りひらいてつくられた養殖池で、えびや魚の養殖が行われ、日本などへ輸出されている。こうした開発により、熱帯林の破壊が進んでいる地域もある。

[Work & Question]

Work 1 右の図の稲作地にあたる地域を

緑で着色しよう 教p.78 3

Question 1 東南アジアで稲作が盛んになった自然的な背景を、Work 1 の図や No.17 の図2を参照し、60字以上90字以内で説明しよう

[illegible]

 POINT

- ・東南アジアの気候と生活文化との関係
(農業と食生活)

🔑 稲作 高収量品種 緑の革命 二期作 商品作物 プランテーション モノカルチャー経済

本日の問い

『東南アジアでは、気候を生かしてどのような生活を営んでいるのか？』

問いの答え [学習後のまとめ] ※No.17 のプリントの内容もふまえて考えよう



◎評価の規準 【態】 問いについて主体的に追究しようとしている。 A十分満足できる Bおおむね満足できる C努力を要する

▼ **振り返り**（できたら☑をつけよう）

- ☐ 問いの答え〔学習後のまとめ〕を“自分の言葉”で書く
- ☐ Googleフォームに回答

2年

組

番

名前